

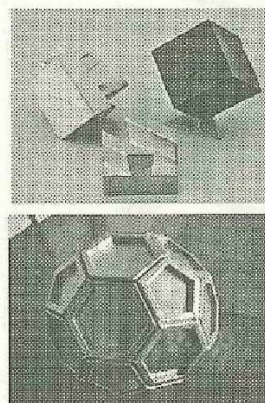
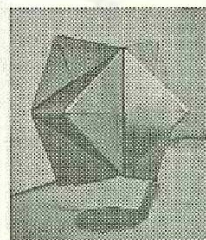
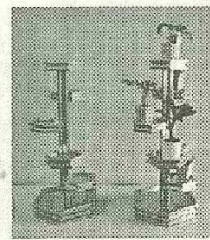
アルミ・ステンレスに特化した板金・溶接・組立加工業者、坂口製作所（本社・大阪市西成区、社長・坂口清信氏）はこのほど、和歌山工場（和歌山県有田郡有田川町清水877-1）の「アルミ・ステンレスの板金加工技術」が和歌山県の令和元年度第1回目「1社一元気技術」に認定された。

和歌山県では、県内の中小企業が有する優れた技術を「1社一元気技術」として登録している。

和歌山工場の板金加工設備はレーザー切断機、ターレットパンチプレス、プレスブレイキなど最新鋭の設備がそろって

和歌山県の「1社一元気技術」に認定

アルミ・ステンレスの板金加工技術（加工製品）



最新鋭のプレスブレイキ

(AMADA

HG130

3)を導入。

18年には、より複雑な形状

への対応力を

高めるため、

3次元ソリッ

ド板金CAD

システム「SetWorks」

も導入した。

「坂口製作所が目指すのは、同じ設備

おり、その充実度は業界トップクラス。

2016年にはものづくり補助金を活用し、高精度の曲げ加工が可能な

を使って製品はどこか導く、というプラスチックファの魅力。そのために

は熟練の技が不可欠。最新設備を使いこなす熟練

の作業者が多数在籍していることが強みで、複雑

な曲げ加工などに挑戦

し続けている」（坂口社長）。

坂口製作所の「アルミ・

ステンレスの板金加工技術」